



府中市議会・市政レポート

稲津けんご

いなづ
2025 年 夏号



今号の主な項目

- 1 面 【議会人事】 ねじれが出るも議論は前へ
- 2 面 【一般質問】 学校の統合 子どもの意見聞き取りを
- 3 面 【一般質問】 犯罪被害者支援 市で強力に推し進めよ
- 4 面 【議会が謎だから聞いてみた】 13. 議員の実働日数

議会人事

公平公正な立場を忘れずに

ねじれが出るも議論は前へ

● 4年ぶり市政会から議長就任

2021 年以降、非自公勢力から議長が誕生していましたが、5 月開催の臨時会で市政会（自民党）から議長が誕生しました。一部の非自公で足並みが揃わなかったのが原因です。しかし、議会運営委員会の委員長職は非自公側が獲得しており、良い意味での緊張感が生まれたと考えています。

今期の稲津けんごは、久しぶりに議会運営委員会に所属。委員長の采配に注目すると同時に、自身もしっかりと意見を述べていきたいと考えています。

なお、常任委員会は久々の建設環境委員会です。前年に引き続いての学校施設老朽化対策特別委員会は副委員長として委員長の補佐にあたります。



● 市議会は 28 名（欠員 2）に

7 月 1 日時点の会派構成です。非自公勢力はわずかに自公勢力を上回っています。

市政会	8 名
市民フォーラム	5 名 ○
公明府中	5 名
自由クラブ	4 名 ○
日本共産党	2 名 ○
日本維新の会	1 名 ○
生活者ネット	1 名 ○
無所属	1 名 ○
れいわ	1 名 ○

※一部、通称による表記有り、○が非自公勢力

本会議から

【6 月議会】思いを通すには仕方がないのか

揺らがぬ考え 筋を通すための手段

● 個人として賛成 しかし会派は

6 月議会に出された 2 つの陳情のうち、府中駅の公衆トイレに対する案内表示や段差解消を求める陳情は、建設環境委員会にて審議されました。当該委員の稲津は陳情内容を精査し、反対する理由がない事を確認して採択に手を挙げました。

しかし、会派内では稲津を除く全員が反対を表明。不本意ですが、稲津は本会議での採決で退席を余儀なくされました。委員会・本会議ともに、採決の結果は不採択でした。

議会だよりでは「退席」と表示されるのみですが、こうした事情によるものです。ご理解いただければ幸いです。



● 事実に基づかない文章は通せない

もう 1 つの陳情は、府中市平和都市宣言モニュメントを現市庁舎に設置するよう求めるものでした。稲津も過去の議会で趣旨に賛同する意見を述べましたが、今回の陳情文には「（市担当者が）千葉の遺族を訪問」という事実と異なる文言があり、この文章では賛成できないと判断。やむなく反対といたしました。採択の結果、委員会・本会議ともに不採択となりました。

市によると、訪問したのは都内とのこと。稲津は今もモニュメントの設置に賛成していますが、嘘偽りをなくし、問題をクリアした上での設置が最善だと考えています。



一般質問 【3月議会】「人生詰んだ」と言わないで

認知症でも生きやすい社会に

● さまざまな負担を乗り越える

認知症にかかる方が増えていく中、府中市では日常生活での損害賠償が付帯した「認知症高齢者等探索サービス事業」を開始。認知症になっても自分らしく生きるサポートを進めています。しかし、加入要件が分かりにくく、希望者のみに提供する点に疑問を感じたため、稲津は一般質問で取り上げました。

市からは「高齢者等」としているのは若年性認知症の方も対象に含めるためと説明がありました。また、加入者は介護をしている方とし、1人暮らしでも介護サービスを受けている方も利用できるとの答弁もありました。



● 本人が認識しない状況での懸念

今回のサービスは希望者のみを対象としています。他の自治体では認知症の診断を受けた方全員が自動加入できる事例もあります。このことについて市は、今のところ自動加入まではいかないものの、今後の制度拡充に向けた検討を進めたいと答弁しました。

自動加入を行う自治体の中には、認知症であると認識していない当事者にサービスの通知を送ったことで「私が認知症だと言うの」と不審がられた事例もあったそうです。サービスの拡充とともに、より丁寧な対応が求められます。また、周囲への啓発や寄り添い活動も大切です。



一般質問 【3月議会】当事者が知らないでは困る

学校の統合 子どもの意見聞き取りを

● 大人は大人の考えで進みがち

府中市では一部の学校で統合に向けた議論が進んでいます。稲津が所属する学校施設老朽化対策特別委員会でも毎回のよう議議題となるのですが、議論を進める中で在校生を含む子どもたちの意見はどれだけ加味されているのかを質問しました。

市の答弁では、2026 年度から本格的に統合の検討に着手したいとしており、できるだけ早期に児童生徒の声を聴く機会を設けたいとありました。

現時点では子どもたちの意見を聴いていないものの、子どもたちに意見を聴くべきという提言は既に受けているとあり、早期実施が求められています。



● 子どもたちも立派な市民

今回は学校の統合に対しての質問でしたが、市からは、過去に校舎の建て替えに合わせて生徒児童に対してアンケートを行ったり、生徒児童主体のワークショップを開催したりしたとの答弁がありました。こうした取り組みから意見をまとめ、新たな計画の策定につなげている事例もあり、市が子どもたちを大切な市民と位置づけていることが分かりました。

今の在校生は統合が実施された時点で卒業しているとしても、次の世代につなぐ責任を持って市と協議できると考えています。社会参画や市民協働の観点からも、子どもたちの意見は重要なものとなります。



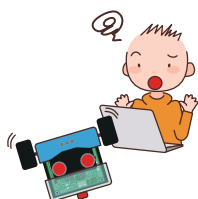
ひといき やらないよりマシ、でも

生配信画面に字幕 AI に課題あり

● 同音異義語が苦手な AI

6月議会より、議会インターネット生配信中に AI による字幕が入るようになりました。AI が声を認識して即時に対応するのですが、稲津の一般質問を見た事務所スタッフから感想と課題を伺いました。

「字幕にするまでの即時性は良いと思う。ただ AI は同音異義語（同じ発音で意味が異なる言葉）が苦手だと感じた。健診が『検診』になり、受診が『受信』になっていた。あと、誰が発しても府中市が『府中氏』となっていたのは良くなかった。これから AI が学習すれば、こうしたミスも減るのだろうと思う」



● 発言者にも工夫が必要

また、事務所スタッフは他の議員の質問も見えており、その時の字幕についても意見がありました。

「話す速度が適切だと、AI が字幕に置き換えるのもスムーズだった。一方、早口だと字幕がどんどん流れて目で追えなかった。ボソボソとした話し方だと AI の動きが鈍り、『えー』や『あの』など言いよどみを AI が丁寧に拾ってしまう傾向も見られた。ゆっくりハッキリ話すのが1番良いのですね」

これを聞いた稲津は、次回以降の発言は「焦らずゆっくり大きな声で」を心がけたいと話しました。



一般
質問

【6月議会】医療の入口を行政で その1

学校健康診断を安心して受けるには

● その時の健康状態が未来を作る

市内公立学校では毎年4月から6月にかけて健康診断を行っています。しかし、何らかの事情で受診できないケースもあり、それが原因で大人になって治づらい症状に苦しむ方もいらっしゃいます。

そこで稲津は市内の健診の実態と、健診当日に受けられなかった生徒児童への対応を質問しました。市は「内科のデータではあるが95%前後の受診率となっており、当日に受診できなかった場合は学校医に直接出向いて無料の健診を受けるよう案内を出している」と回答。耳鼻科と眼科については学校医であれば市内どこでも通えたとありました。



● 負担をかける対応は改善を

今回の質問にあたり、市民の方から「不登校で受診できなかった子どもに向けて案内は届いているが、赤い背景に白い字で書かれた文章に怖さを感じる」と情報が寄せられました。実際に見ると、保護者として苦心しているところに追い打ちをかけられる印象を受けました。市に寄り添いの姿勢を求めたいです。

また、学校医の数を尋ねたところ、内科や歯科は1校に1名配置しているものの、他の診療科では1名で3校以上受け持つ方が多く、精神科は1名で33校全てを受け持っていることが判明。増員の必要性を痛感しています。

一般
質問

【6月議会】医療の入口を行政で その2

心のケアに精神科オンライン初診を

● 本来「初診は対面が原則」だが

引きこもり状態にある方にとって、通院を含む外出は困難に感じられることでしょう。それでも、何とか回復したい（させたい）と思う方も多いと思います。そこで稲津は行政が支援機関や医師会と手を組み、初診からオンラインで精神科を受診できる仕組みを作った自治体を紹介。その上で、市での実現可能性を質問しました。

市からは「仕組み自体は精神科医療へのアクセス向上が見込めるが、現時点での実施は難しく、他自治体の動向を注視する」と答弁がありました。今回初めて取り上げる内容ゆえ検討の時間は要するでしょうが、良い点と悪い点を明らかにして前に進めることを求めました。



● 当事者から多くの賛成の声

実はこの仕組みについて市内の当事者団体に紹介したところ、大半の方が導入に賛成と話していました。市からは、デジタル機器の操作が難しい方へのフォロー体制や、地域福祉コーディネーターを中心とした支援機関につなぐためのアウトリーチ体制を設けるとの答弁があり、オンライン初診に不安を感じている方も期待が持てる内容であると評価しました。

実は、先の「学校健康診断」の質問と「精神科オンライン診療」の質問には関連性と親和性があります。2つの質問から新たな課題と希望を感じ取りました。稲津自身も新たな調査や聞き取りを重ね、9月議会で市側に提案したいと考えています。

一般
質問

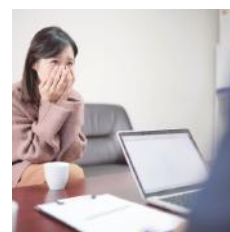
【6月議会】絶対にゼロになると言い切れないからこそ

犯罪被害者支援 市で強力に推し進めよ

● 歯がゆさを感じつつ怒りも

稲津が犯罪被害者支援を一般質問で取り上げるのは今回が初めてではありません。今から24年前から取り上げており、犯罪被害者支援条例の制定に向けた動きを加速するよう何度も繰り返し求めてきました。

しかし、国や東京都で軸となる法令や条例が制定され、都内自治体でも独自の条例を制定して本格的な活動も進んでいる中で、市が出した回答は「検討していない」の一言でした。市民の中からも市の人権意識に疑問を持つ声が寄せられており、これまで実現できなかった歯がゆさや怒りを糧に条例制定を強く求めました。



● 持っているリソースを結集

市は「条例化を検討していないので担当の部署はない」としつつ、条例を持つ他市の事例から「福祉部門や市民生活部門（事件担当部署）が支援を受け持つのでは」という見解を示しました。これを受けて稲津は「関係部署は多岐に渡るため、政策部門が関係部署をとりまとめるべき」と主張。10年以上前に市で作られたプロジェクトチームの提言を検証するだけでなく、新たなプロジェクトチームを立ち上げて行動に移すことを要望しました。犯罪の被害に遭われた方に寄り添う市の姿勢を今こそ見せる時です。



市の動き

【あの後どうなった？】71 年目もどうぞよろしく

2つの府中市 交流続々と

● 府中焼きは人気の味に

この1年間に、広島県府中市（以下：備後府中）の物産展が東京都府中市（以下：武蔵府中）の各地で開催されました。稲津もミッテン府中で開催された物産展に足を運んだのですが、稲津の好物で備後府中流のお好み焼き「府中焼き」は売り切れ。その後に開催された物産展でも府中焼きはすぐに売り切れたと聞きました。

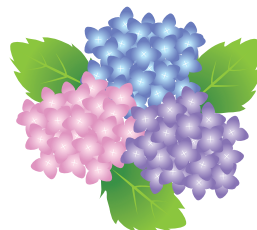
武蔵府中が主催し、備後府中のアンテナショップで開催された府中焼き実演と試食会も大盛況だったとのこと。ひき肉を使い、パリパリに焼き上げられた逸品は武蔵府中でも好評です。



● 互いの地で記念植樹

武蔵府中の市政 70 周年記念事業は3月で終了しましたが、フィナーレイベントの後日に高野市長が備後府中を訪れ、ケヤキの植樹を行いました。6月には備後府中の小野市長が武蔵府中を来訪。アジサイの苗木が寄贈されました。これらはかつての「大賀ハスとラジコンヘリ」に続く新たな交流の証となりました。

今回のケヤキとアジサイは、現地の木から育てた苗です。かつて武蔵府中が備後府中に寄贈した大賀ハスは今でも立派な花を咲かせていると伺っています。今回の苗もハス同様に立派に育ってほしいと願っています。

教えて！
稲津さん

議会が謎だから聞いてみた



【質問 13】



議員の実働日数は少ないと聞きました。本当なんですか？

【稲津けんごが答えます】

● 「実働」の考え方は？

一般的に地方議会の定例会（定期で行われる会議）は年4回で、開催日は平日となっています。1回の定例会は最長で20日程度です。こうした面だけ注目すると実働日数は少ないと感じるかもしれません。

しかし、定例会がない時でも所属する委員会や一部事務組合の業務はあります。特に、議長・副議長・監査委員の業務量はかなり多く、審議会参加や出張業務なども頻繁に起こります。議会（本会議場での議論と言っても良いでしょう）以外の「目に見えない部分の実働日数」は多いです。

● そもそも議員の仕事とは？

議員の仕事は定例会に出席するだけではありません。市民の声を聞き、市民のためになる条例や予算などを検討・議論し、形にしていくのが大きな仕事です。

そのためには準備に余念がありません。先行事例の調査や行政の監視など、定例会のない時にも行っています。議員は地域に足を運び、そこでの活動にも積極的に参加します。こうした活動の中で得た市民の声をまとめ、行政に届けています。自身の中で思いついて誰の意見も聞くことなく物事を進めるのは本筋から外れています。

こうして考えると、議員の仕事は多く、労働時間は毎日24時間だと話す方もいらっしゃいます。楽な仕事だとかかると、活動していて痛い目に遭うでしょう。



お知らせ

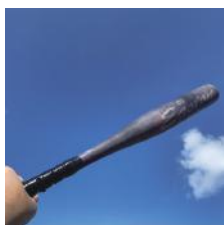
稲津けんごは強気です

一般質問「続編」にご注目を

● 異例の「予告一般質問」

6月議会の一般質問で稲津は、犯罪被害者支援の件について「犯罪被害者週間(11月25日から12月1日)に合わせて12月議会で再質問する」と異例の予告を行いました。市にもっと本腰を入れて取り組んでほしいという思いからのものです。

また、議場で直接言及はしませんでした。6月議会で「その1」「その2」と題して行った医療に関する質問については、9月議会で「その3」を行う予定です。聞きっぱなしにしないためにも、提案や議論を重ねながら、物事を良い方向に進めたいものです。



● 9月議会は8月29日から

2025年の9月議会は8月29日に招集され、9月29日まで開催されます。一般質問は9月1日から3日間の日程で実施されます。また、決算審議が9月18日から25日まで5日間開催されます。（いずれも土日祝日を除く）

決算と合わせて、補正予算の審議も予定されています。物価高が続く中、市民の生活支援や建設中の公共施設に関わる費用負担などが議論されると見えています。9月議会の後は、12月に議会が予定されています。



←府中市議会を知る

日程や議案など、議会情報は
こちらから

府中市議会を見る→

本会議インターネット中継は
こちらから